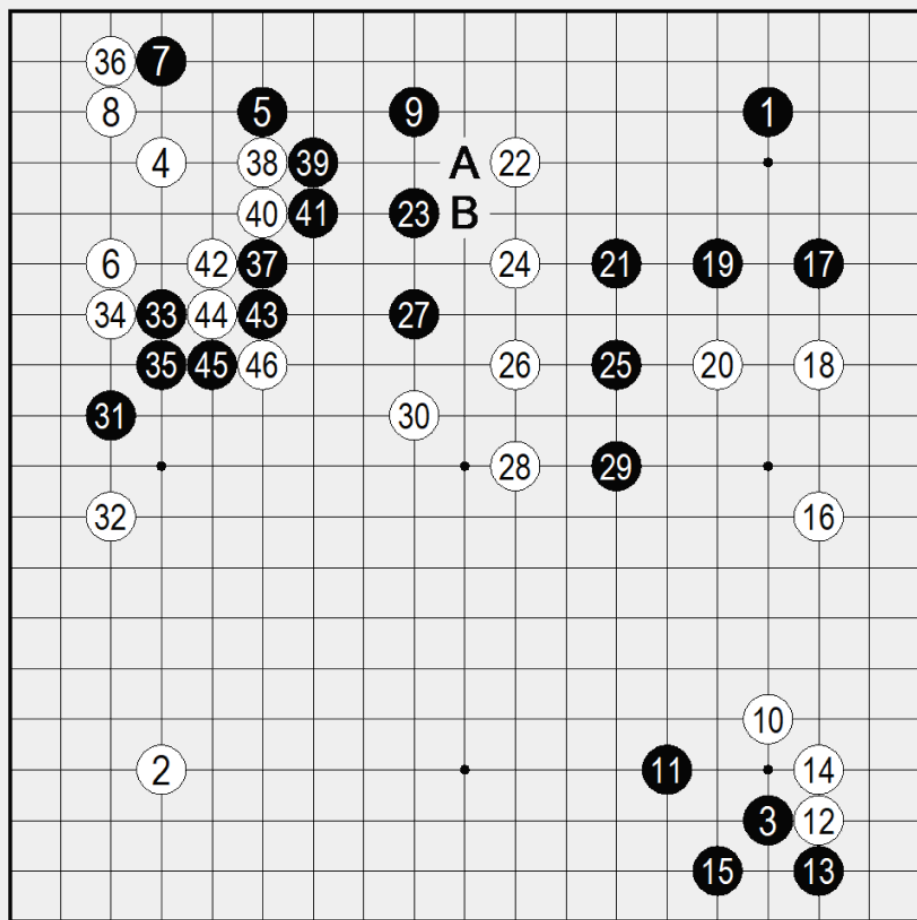


☆棋譜診断シート☆

(棋譜診断士 河合将史 六段 2023 12月〇)

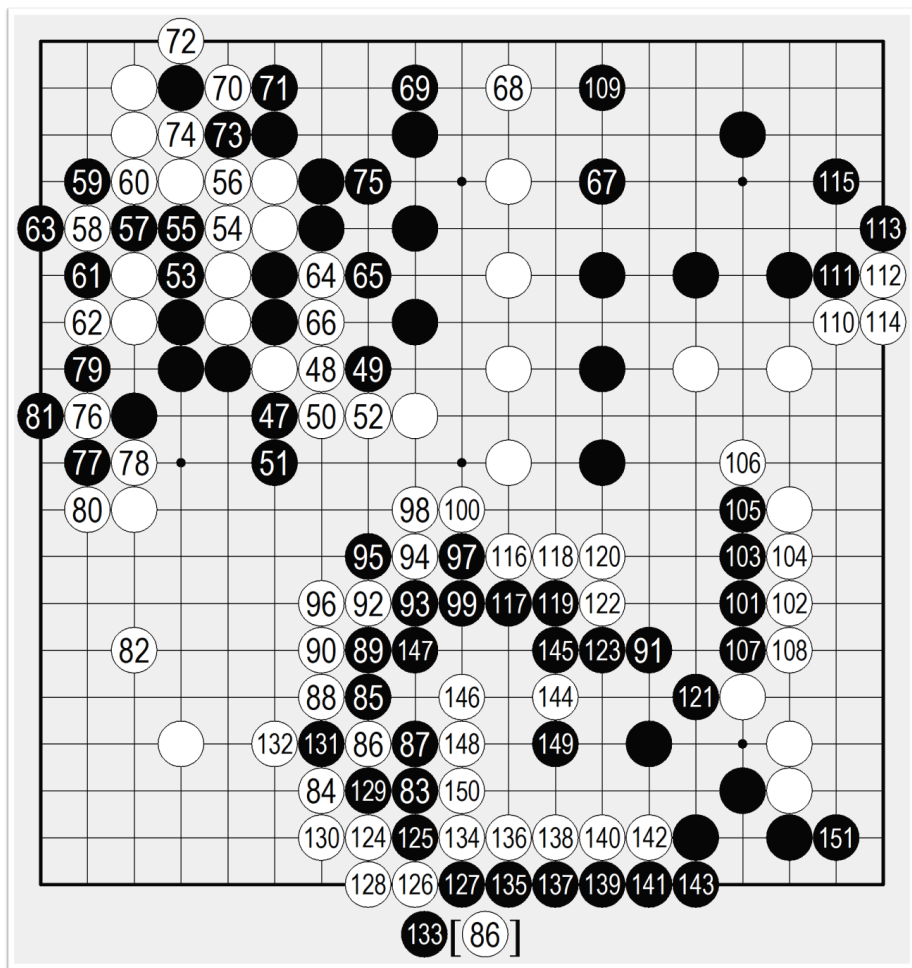
● 対局太郎 様 3級 ○ 碁敵二郎 様 2級 151手以下略 黒中押し勝ち

(1~46)



- ・最近では珍しい向かい小目の出だしですね
- ・白16まで、昔からの代表的な定石がふたつ、ですね！
- ・黒17は下辺に先行した方が良いか？という質問をいただきましたが、むしろ黒17のシマリを自分（河合）だったら打ちたいです(^-^)。もちろん下辺へもあるでしょう。
- ・黒21は上辺重視で、立派な手ですが、左下エリアへの先行も布石としては大きい手です。
- ・白22は、気合の入りで一案ですが、**A**の肩付きの方が、やや安全かもです。（次、黒の**B**を考えておく必要あり）
- ・黒23はBのカケもありそうですが、23&25は、捉え方として良いです →[好手資料](#)
- ・黒31~37は悪くないですが、地の面では、白32や36に打たれ、黒が得しているとは言えないので、→[参考資料1](#) ・白は38~仕掛けていきましたが、44や46は打ち過ぎで、→[参考資料1, 2](#)

(4 7 ~ 1 5 1 手まで、以下略)



- ・黒 4 7 ~ は、すぐに 5 3 ~ でしたね。
- ・白 5 2 では 6 4 に切るチャンスでした→参考資料 2
- ・黒 5 3 ~ が良い方針で、6 3 までで優勢です(^-^)->好手資料
- ・黒 7 3 は疑問手になってしまう場合も多いため、必要ない手は保留する習慣にしていきましょう→参考資料 3 (黒 7 5 は関連)
- ・黒 8 3 ~ 9 1 が大きく良い感じで、優勢が続いています
->好手資料 ・黒 9 7 は 9 9 と打たないと危険で(^-^);、
白 9 8 で 1 4 7 と切られると両アタリで、黒が困っていました。
- ・黒 1 0 1 では右辺を分断する手はないか、それで黒地の方が
痛まないか？というご質問をいただきました→参考資料 3 ~ 5
- ・黒 1 0 9 は大きい所で、引き続き優勢です(^-^)
- ・黒 1 3 3 のツギは 1 3 4 の所を守る必要があり、
1 3 5、1 3 7 は危険でした(/・ω・)/
- ・白 1 3 8 は 1 4 0 にカケ (ゲタ) て、
黒を取る手があったのを確認してみてください！
- ・黒 1 3 9 ~ は一瞬のピンチ脱出で、1 5 1 で勝勢です(^-^)

★序盤は、落ち着いた持ち味で良いですね(^-^)

★左上エリアの戦い、接近戦では、力強さがありましたが、課題も少しありましたね！

☆下辺 8 3 ~ 1 0 9 までの先行力、段取りは良く、長所とみました(^-^)

★ご質問の右辺はより良い図もあったようですが、形勢が良いので、実戦の進行は試合巧者と言えます。

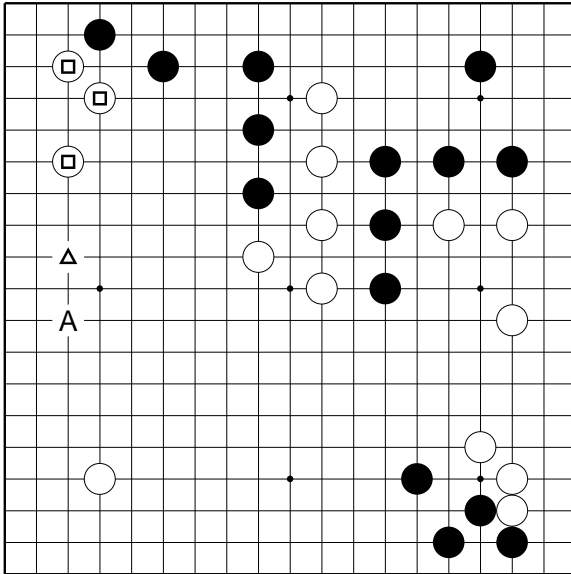
★下辺は一瞬危なかったですかね(^-^);

★全体を見ながら自然な感じで打たれているのがとても良いです(^-^)

★簡単な手筋や読み力などを鍛えられると、もっと良くなれるでしょう！

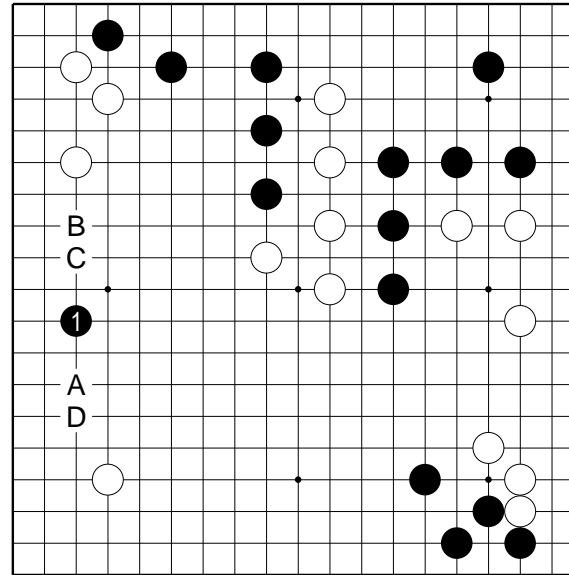
※自分の診断ではレーダーチャートは省かせていただいています m(__)m

参考資料 1



(3 1)

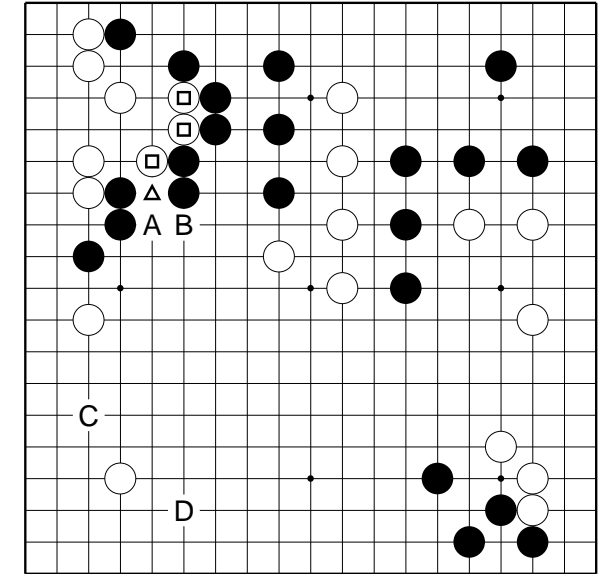
黒△は、白□の攻めを狙い、
得が出来そうな感じがあれば良いですが、
それほどでもなければ、
黒 A くらいの方が、無難です。 →→



(左図から)

黒 1 なら、わかりやすく、
損得的にも、間違いはないですね。
 白 A なら黒 B ですし、
 白 C なら黒 D ですから。

黒 1 を D など普通に掛かるのも、
 もちろん悪くないです。



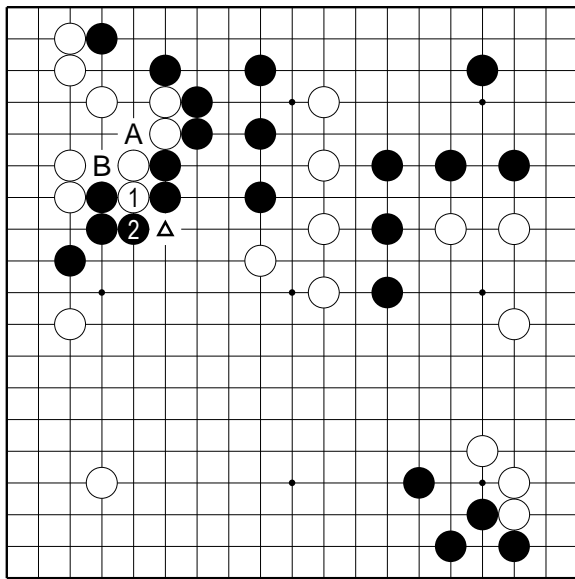
(4 4)

白□はダメが詰まっているので、
白△、黒 A になったとしても、
白 B とは少し切断しにくいかな、と、
(何かトラブルが発生しそうで)
 ここで気が付けば立派なものです。

この場面では、白は C や D などに
 先行する感じですね。

※ただ、白△と打ち、黒 A となった
 後でも →参考資料 2 へ

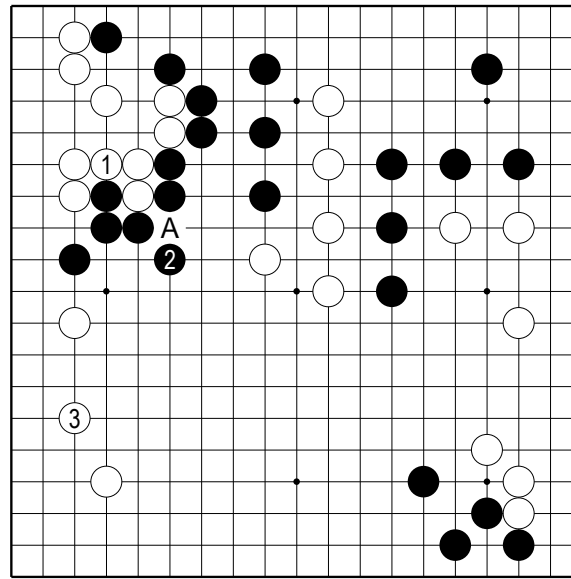
参考資料 2



(参考資料 1 から)

白 1、黒 2 の時、白△に切ろうと
予定していたところ、ここで、
はたと自分の弱点に気づき、
手が止まれば、まだ大丈夫です → →

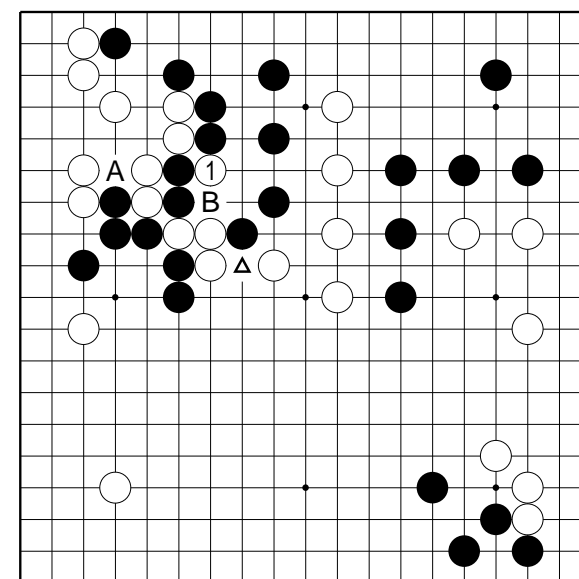
黒 A と両アタリにする手や、
黒 B にアタリにする手が、
急に発生していますね。



(4 6)

白は、実戦 A と切った手では、
白 1 に守るくらいでした。

今度は白 A と切る手が厳しく、
効果的になりそうなので、
黒も 2 などに守るくらいです。
そこで白は 3 などに打てば、
白は問題がなかったです。

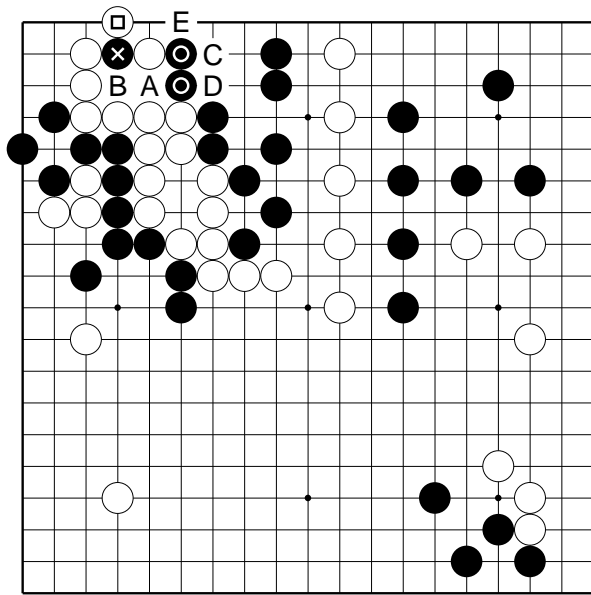


(5 2)

白△では、白 1 の切りに気づけば、
(黒 2 子を取れていますね)
逆に、かなりの得があるところでした。

黒 A には、白 B で、黒 2 子を具体的に
取ってしまえば良く、実戦のように
黒に左辺を破られることもなかったです。

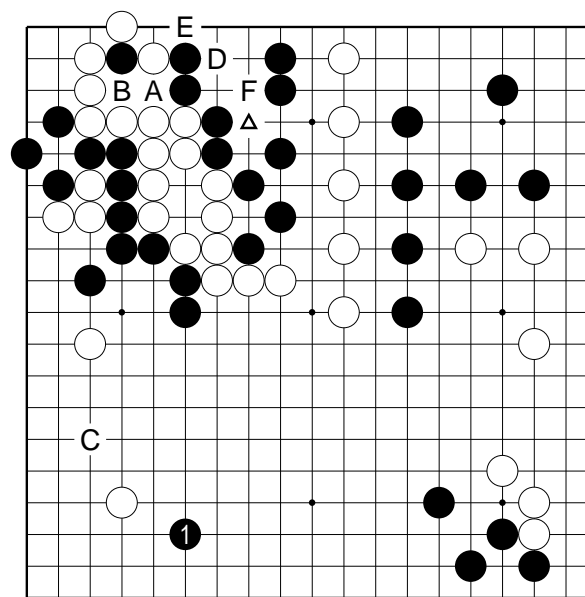
参考資料 3



(73)

囲碁が上達していく過程で、出来るだけ早く身につけてほしい事のひとつに、この場面があります

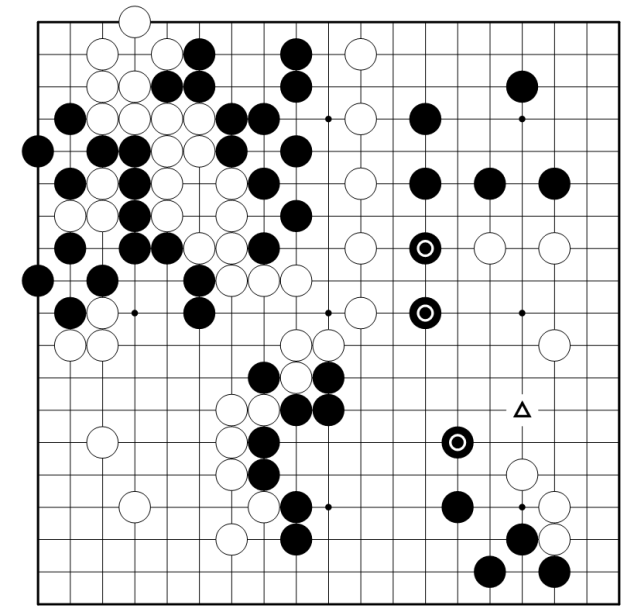
白□と打った場面。黒は×が取られてしまったと気づくわけですが、ここで、つい黒 A と打ち、白 B としてしまう事が多いです。何か意味がある場合を除き、たいていマイナスです。この場合だと、その後、白は C にツケる手が可能になり、黒 D、白 E で、少しですが削られています。(黒 D を E は、白 D で黒が取られ、です)



(左図の続き～75)

実戦は、黒 A、白 B の交換があったためか、黒△に打たれましたが、気持ちはわかります。ダメが詰まっていると、少し気持ちが悪いですからね。(実際には、黒は手抜きが一応、可能ではありましたが)

逆に、その交換がなければ、黒一団の危険度の感触が、少し違うのがわかりますか？
この状態だと、黒 1 や C などへの先行がはっきり可能です。白△などの急所攻めなどにも黒 F で大丈夫です (白 D には黒 E です)



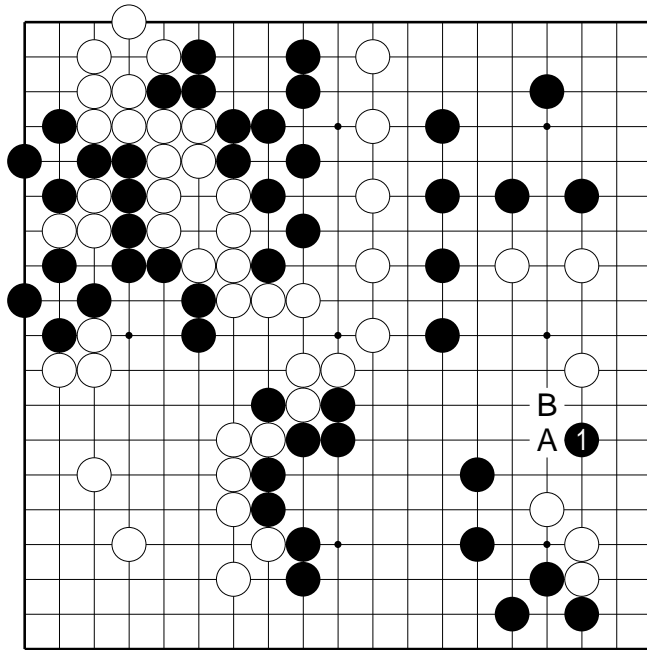
(101)

「黒△の手では、右辺の白地を分断する手があったかどうか、又、黒地が痛まないか？」

というご質問をいただきましたが、

結論から言うと、黒◎などがあるので、分断できるかどうかは、白の対応にもよりますが、左側の黒地を傷めず、普段よりは効果をあげる手が、ありそうです。→参考資料 4～

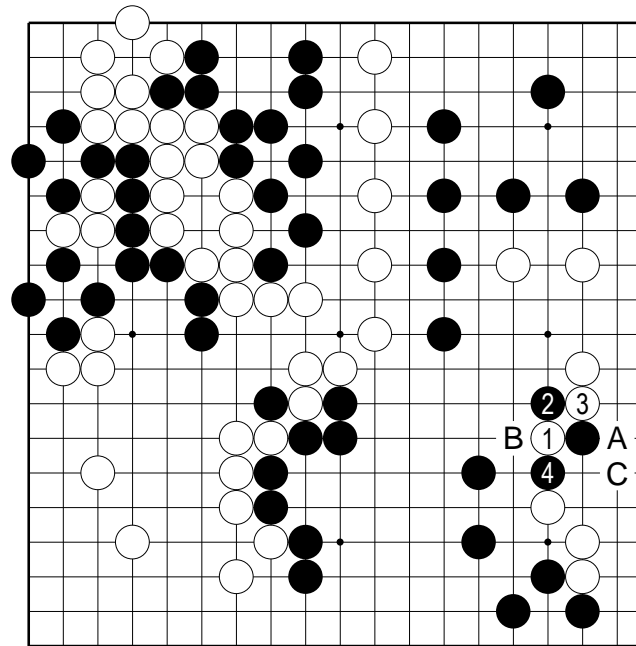
参考資料 4



(参考資料 3 から)

代表的な手だけをご紹介しますが、
実戦の黒 A より、黒 1 の方が
厳しく、効果が出そうです。

黒 1 には、白 A か B でしょう →→



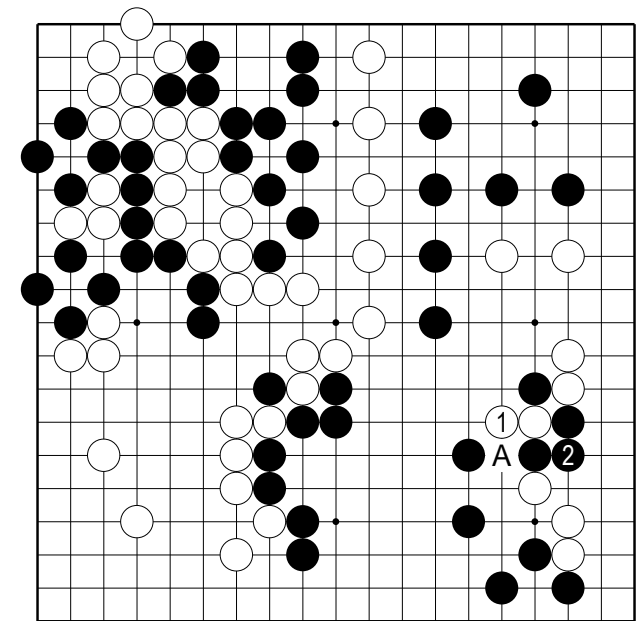
(左図 A)

白 1 には黒 2, 4 で良さそうです



ここで白 A なら、黒 B で、白 C と
連絡はされてしまいますが、
黒は白 1 子を取っているので
何かと厚く、実戦よりは得を
している、と言って良いでしょう。

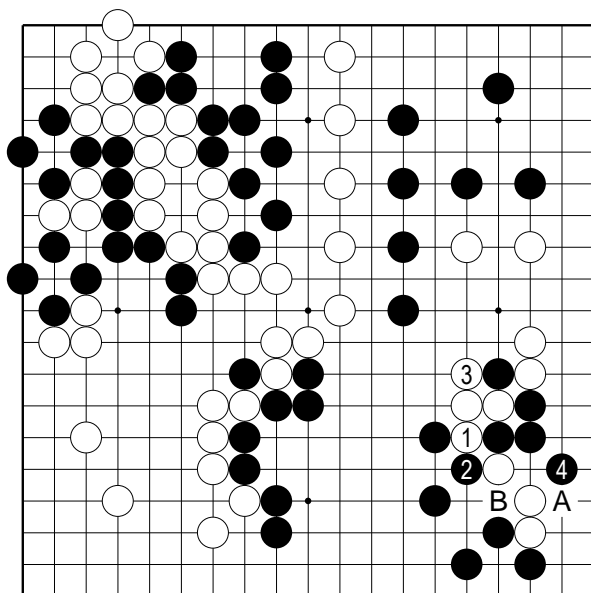
※ただし白は無難に打つなら、
それくらいしかありません。



白 1 には、黒 2 とつなぐ手が
あります。黒 2 を A は、白 2 で、
あまり黒が上手くいきません。

→参考資料 5 〜

参考資料 5



(参考資料 4 から)

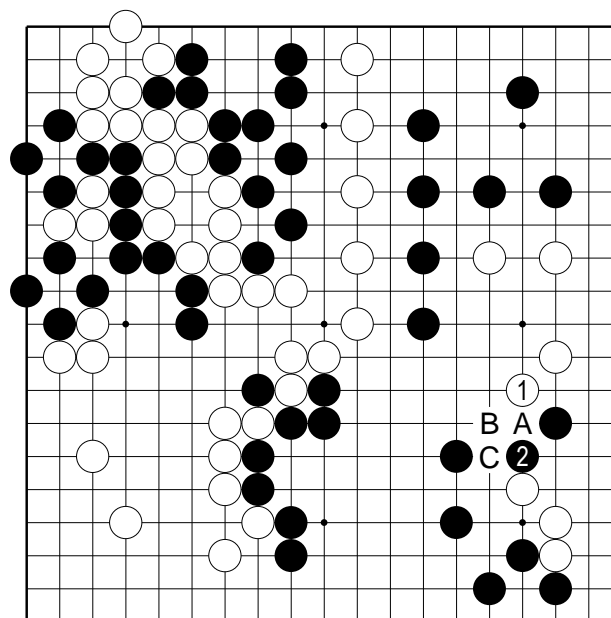
白 1 には、黒 2 と切り、ここで白は、
3 と戻さないといけません

(打たないと、黒 3 で、シチョウで取られてしまいますね)

そこで黒は 4 で、隅の白 3 子を
攻め合いで取れています。

(白 A は黒 B です)

これは大収穫ですね！

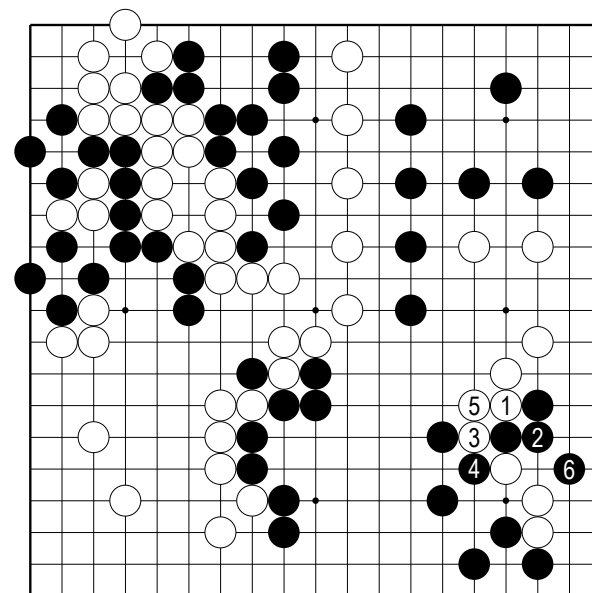


(参考資料 4、左図の B)

白 1 には、黒 2 と打つ、器用な手があります。

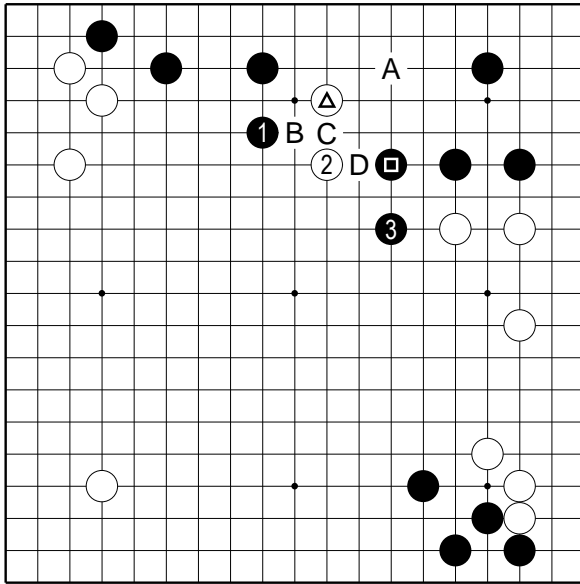


※AI などでは、黒 A、白 B、黒 C の方が、
数値が高いようでしたが、
白 2 に切られるとそれなりに難しいです



白 1 には、黒 2 とつなぎ、
結局、前々図と同じ要領です。
黒 6 までで、白を取れていますね。

好手資料

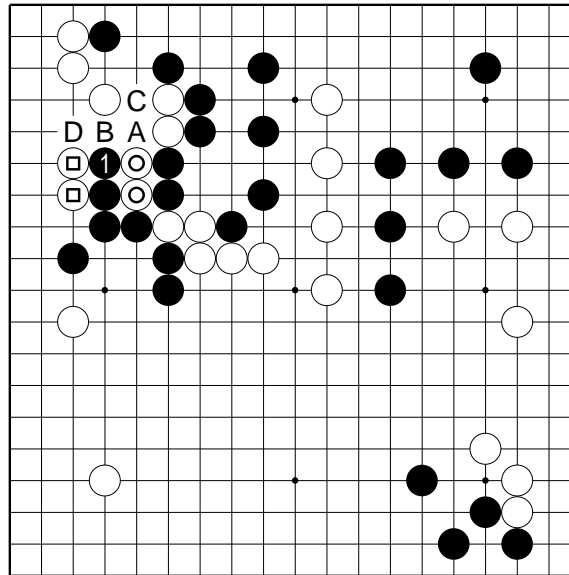


(2 3、2 5)

黒 1 ～ 3 は良い方針でした(^-^)

白△の時、黒はAと打っているのも悪くないですが、黒□と打っているので、少し堅い感じで、もどかしくもありますよね。

又、黒 1 を B にカケる案もあり、最強ですが、白 C や D に抵抗された時、難しくなるかもしれず、好みでなければ、黒 1、3 でも十分に良いです。



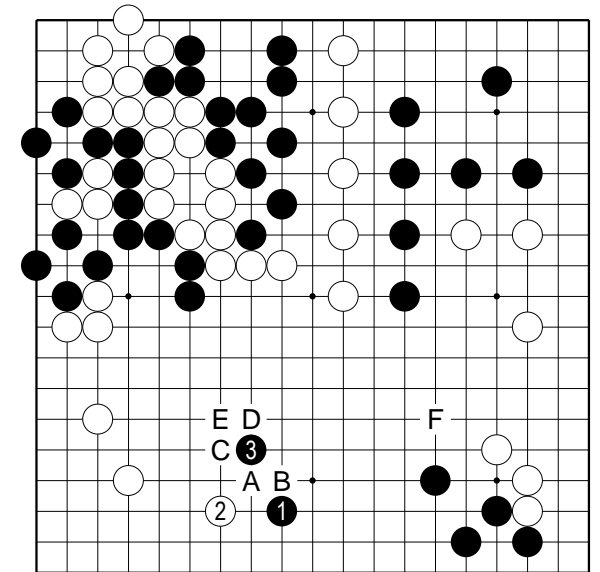
(5 3)

黒 1 は、冷静かつ、最善でした！

この場面では、白のふたつの◎2子の価値が高いです。

実戦のように、白Aとつながせ、黒B、Dと左辺を破っては、成功です。

一見すると、Aのところに切りたくもなりますが、(両アタリのところなので)、それは白1の方につながれ、左辺の黒1団が弱めのままなので、右上の白2子を取っても、意外とたいしたことないです。



(8 3～9 1)

黒 1、3 と下辺を広げ、白 C ～ E の時、黒 F に打ったのも、この場面では、足早で、要領の良い打ち方でした(^-^)

※白Eの後、通常はDの上が双方好点になったりしますが、この碁では、上方の黒白の配置から、その所は、それほどには価値が高くないからです。